

の色について、実地調査を行い、100 種以上の、統計的に調査した資料が得られた。それらをも報告する。

A-14 生活に使われる色の研究

1. 住居の壁の色について

横浜国立大学 藤井 千枝

住居の色について調べたところ、日本人の色の使用が貧困であることがわかった。これを豊かに導く一つの方法として壁面の色を改めることが考えられる。近来、住居の内部の壁塗料が販売されているが、日本の住宅の塗装修理等に使用して適当であるかどうか、配色学の立場から調べてみた。その結果は、塗料の使用法を指導する上に、指針となるものが見出された。従来多くの家庭用資材を新しく使用する場合には、販売者側の使用書通りに行うことが常であると思われるが、更により方法を見出して、家庭生活に役立てることこそ家政学上重要なことと思う。そこで、市販の合成樹脂塗料について日本住宅の内部の塗装用として、そこに生活する人々が諸条件（顔色・衣服の色・居住者の要求等）に基く配色上の研究を行った結果を報告するものである。なお、近代建築